

令和3年7月26日

生涯学習部文化課

取掛西貝塚の国史跡指定について

国の文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和3年6月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に対し、取掛西貝塚を史跡に指定することを答申しました。この結果、秋頃の官報告示により、取掛西貝塚が船橋市初の国史跡となります。

1 概要

（1）指定等の対象の名称

取掛西貝塚

（2）指定等の対象の所在地（別紙参照）

千葉県船橋市飯山満町一丁目 1337 番 2 外 132 筆等

（3）指定等の対象地域の面積

39,032.42 m²

（4）所有関係の概要

船橋市市有地・・・7,654.51 m²

民有地・・・31,377.91 m²

（5）遺跡の概要

取掛西貝塚は、東京湾東岸部最古の貝塚であり、集落と貝塚の関係がわかる全国的にみても貴重な遺跡である。舌状台地上に東西約320mにわたり58軒の竪穴建物と土坑が分布し、同時期の集落としては、関東最大級の規模である。

獣骨を並べた儀礼跡とみられる遺構も発見され、当時の生業と環境、精神文化を知る上で重要である。

2 普及啓発

（1）「いよいよ国史跡指定へ 取掛西貝塚ミニ展示」（終了）

・令和3年6月19日（土）～7月11日（日）

飛ノ台史跡公園博物館

（2）写真パネル展示（終了）

・令和3年6月19日（土）～7月11日（日）

郷土資料館

（3）「いよいよ国史跡へ！写真でみる取掛西貝塚」

・令和3年8月24日（火）～8月29日（日）

市民ギャラリー

10:00～19:00（最終日は17:00まで）

(4) 講演会「取掛西貝塚を考える～約1万年前の縄文ワールド第4弾～」

令和3年8月14日(土) 13:30～16:20(開場13:00)

船橋市勤労市民センター ホール

①「取掛西貝塚のこれまでの調査成果について」

埋蔵文化財調査事務所 白崎 智隆

②「取掛西貝塚からみた縄文時代前半期の植物利用」

金沢大学 古代文明・文化資源学研究センター 特任准教授 佐々木 由香氏

③「史跡の保存と活用～取掛西貝塚に期待すること～」

大阪府立弥生文化博物館長 禰冨田 佳男氏(元文化庁主任文化財調査官)

(5) 啓発

① 広報ふなばし7月1日号・8月1日号(予定)

② 庁内モニター、船橋駅前歩道橋・船橋駅前総合窓口センター・マンションデジタルサイネージ

③ 出張所・図書館・公民館等でのポスター掲示

④ 生涯学習チャンネルでの動画配信

⑤ 取掛西貝塚を紹介する特設ページ

船橋市ホームページ内に取掛西貝塚のページを設け、遺跡の解説や刊行物PDF、動画など、遺跡に関する情報にアクセスできるようにしております。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/gakushu/0005/p092529.html>



3 今後の予定

(1) 官報告示により国史跡指定

秋ごろに官報告示され、正式に国史跡に指定される予定です。

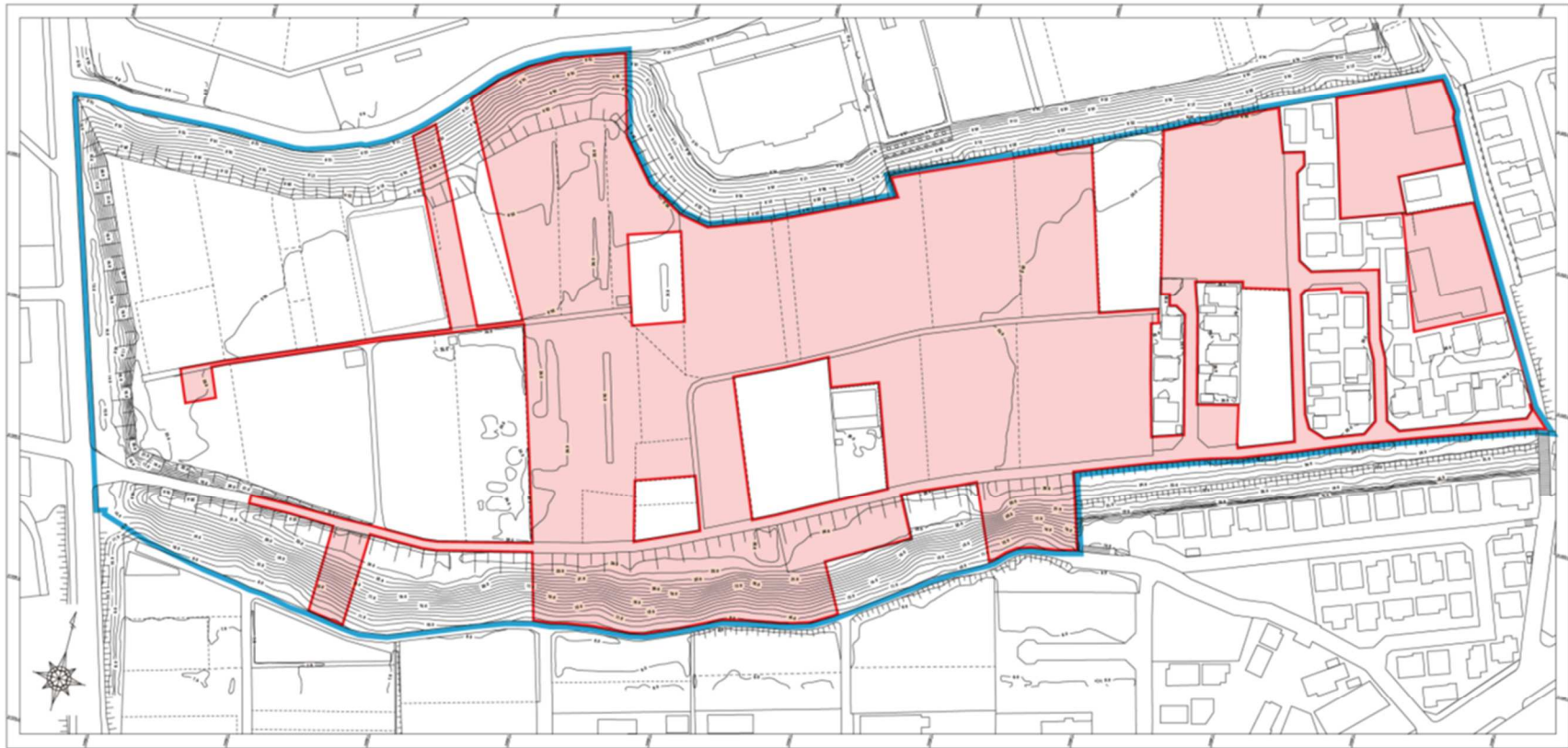
(2) 保存活用計画の策定

国史跡指定後、今年度中に取掛西貝塚保存活用計画策定に着手し、令和5年度に計画を策定する予定です。

史跡候補地と意見具申の範囲

令和3年7月26日(月) 文化課

 取掛西貝塚 国史跡指定意見具申の範囲 (39,032.42㎡)



同意取得 39,032.42㎡ / 史跡候補地 73,372.40㎡
(史跡候補地の53.2%)